

フォローアップ自己評価報告報告

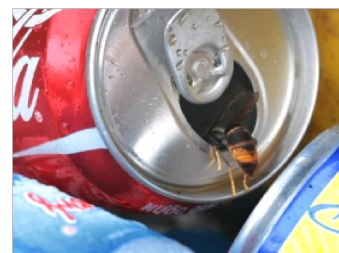
本年度のフォローアップ自己評価を実施しました。定期自己評価、KES更新審査更に環境目標でも、不適合がなく、今回のフォローアップでは、環境活動全体を通した有効性が評価の対象となりました。議論の中心は、エコキャップ回収や美化活動と言った社会貢献活動が、社員に周知された活動であるか議論しました。社会貢献は、本年度実施した環境影響評価でも、評価者全員が、最高ランクに評価するなど、活動の中心的な目標になっている事に対し、評価員からは、地道な活動、例えば、電源スイッチをこまめに消すなど作業者が日常的に取り組める目標を、対外的にはグレードダウンさせてように思えることでも真摯に取り組むべきとの意見が出されました。次年度の活動目標に活かしたいと思います。

飲料水用の缶やペットボトルの廃棄について

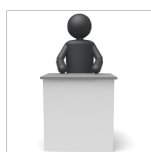
空缶などを回収担当の方に引き渡すとき、飲み残した内容物で、服を汚すことがあります。何よりも、悪臭のもとになっています。全部飲みきった後に処分するよう心がけてください。空缶や、ペットボトルにごみをつめ込むなど、もつての他で、とても容認できません。最近は無くなりましたが、ペットボトルを一般ごみの中に混せて廃棄することも、絶対にやっていけないことです。どんな些細なことでも、ルールに従って処分してください。あなたのマナーは、必ず誰かにみられています。

こみっとフェスティバルに参加しました

2月25日イオンモール水戸内原店のメインコート及びイオンホールを利用して、「こみっとフェスティバル2017が開催され、私も参加しました。この行事も今回で五回目となり、少し市民に定着した感がありました。私は、今回も一般の来場者に環境のクイズをだして、答えていただき、そのクイズの回答を解説しながら、近隣の環境問題などを説明しました。今回も水戸の歴史や、水戸市のごみの廃棄物の現状、川の汚染状況を説明しました。一番反応が多い問題は、外来種などの話で、他人事のように考えている人が、現状を説明すると、大変驚かれました。このような機会を捉え、多くの方々に環境の問題を周知していただけるようこれからも、多くのイベントや集会で話し続けて行きます。



最高責任者(社長)のコメント ～ 緊急事態対応訓練を実施して ～



水戸市が実施した一斉防災訓練に参加した。昨年も熊本地震など、災害は繰り返し襲ってくることを実感した。今回のような訓練を繰り返し行なうことで、身の安全を確保することが最優先であることを身体に覚えさせ、いざと言う時、正しい判断が出来ることを確認願いたい。広域避難場所や一時避難場所など、まぎらわしい用語もたくさんあり、このような訓練を通して知識を広め、家族とも避難方法などを確認することを望む。

今月の環境用語 「環境法令調査」



環境マネジメントでは、スタンダードと環境に関するその他の要求事項を充たすことを求められている。すなわち、その他の要求事項とは、国が定めた法令、茨城県や水戸市が定めた地方条例などがあり、地域によっては、水戸市の環境基本計画などがあれば、それに従わなければならない。また、年に1回以上または、必要に応じて法令を調査し、変更などがあれば、求められた方策を取り入れなければならない。

今月の環境目標進捗状況

	今月の目標	今月の実績	今月の評価	本年目標累計	本年実績累計	累計達成率	全体評価
電気使用量の削減	26,621kwh	24,972kwh	達成	223,642kwh	202,994kwh	110%	↑
一般ごみの削減	66袋	64袋	達成	708袋	689袋	103%	↑
エコキャップを回収	860個	866個	達成	9,243個	9,936個	107%	↑
美化活動の実行	—	—	—	2回	2回	100%	↑
生物多様性保護支援	1回	1回	達成	9回	10回	111%	↑